



みずだより

No.99

令和6年5月15日



X(旧 Twitter) @fukuokashisuido
節水シンボルマーク

編集・発行◆福岡市水道局総務課 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目28番15号 電話092-483-3139 ファクス092-482-1376 <https://www.city.fukuoka.lg.jp/mizu/somu/> (年3回発行) 次回8月1日号

知っていますか 福岡市で起きた 2度の大渇水



昭和53年と平成6年に、少雨の影響により、大渇水を経験した福岡市。

給水制限が約300日にも及び、一番厳しかった昭和53年6月1日から10日までの10日間は、じゃ口から1日5時間しか水が出ませんでした。



湖底をさらけ出している
ダムの様子(昭和53年)

バケツに給水を受ける市民(昭和53年)
～星の原団地にて～

生活に及ぼした影響

実際に渇水を経験された方をご紹介します。

- ・給水車から給水するために、何時間も並んで待った
- ・部活で汗をかくても、十分にお風呂に入れずつらかった
- ・水洗トイレの水が出ないため、常にバケツに水をためておく必要があった
- ・学校でプールの授業が中止になった
- ・後始末で使う水の量を考えるなど、料理は作るものが限られた
- ・洗濯物は、風呂の残り水を使い2～3日分をまとめて洗った
- ・風呂は一日おき、又はシャワーで済ませた



水道局マスコット
フクちゃん

水は生活のあらゆるところで使われるから大変だったんだね



給水するために並んで待つ市民
(昭和53年)

6月1日は「節水の日」

給水制限が一番厳しかった期間(6/1～10)の初日である6月1日を「節水の日」と定め、毎年水の大切さを呼びかけています。

令和5年は福岡市水道局公式アンバサダーの中島浩二氏をはじめ、渇水を経験した方、未経験の方によるトークセッションなどを行いました。



街頭キャンペーンの様子(令和5年)